

2022年7月

## 山口大学異分野融合研究実践型博士後期課程学生育成プロジェクト 2022年度（令和4年度）10月募集要項

### 1. 趣旨

博士後期課程学生（東アジア研究科及び4年制課程では博士課程学生、以下同様）は、我が国の将来を左右する重要かつ大切な人材であり、第6期科学技術・イノベーション基本計画において記載されているSociety 5.0の実現に不可欠な様々な技術開発や総合知の源です。さらに同基本計画の柱でもある「イノベーション創出」においても重要な役割を果たすことが期待されています。そのために博士後期課程学生には、必要な能力を涵養すると共に、身につけた能力を実践する場に出ること（例 インターンシップ、海外研修など）が求められています。

本プロジェクトでは、我が国の科学技術・イノベーションの創造に直接関わる意思を持つ優れた博士後期課程学生を選抜し、その生活費相当額及び研究費を支援します。選抜された学生は、『やまぐち未来創発塾』の塾生として、塾が提供する各種教育プログラム（やまぐち未来創発塾開講プログラム）を受講することや、異分野融合研究のきっかけとなることを目的としたシン・文殊グループ活動に積極的に参加することが必須となっています（詳細は、別紙参照）。

なお、本プロジェクトは、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下「JST」という。）「次世代研究者挑戦的研究プログラム」事業の採択を受け実施するものです。

### 2. 対象学生

令和4年10月に新たに山口大学の医学系研究科（医学博士課程又は博士後期課程）、創成科学研究科（博士後期課程）、東アジア研究科及び共同獣医学研究科（以下、「博士後期課程」という。）に入学または進学予定の者(\*)で、かつ、博士後期課程修了後、我が国の科学技術・イノベーションの創造に直接関わる意思を持つ者

(\*)今後、本学博士後期課程の入学者選抜に出願予定の者で、合格した場合は入学又は進学することを確約する者を含む。

以下の項目に該当する者は、対象となりません。

- (1) 国費外国人留学生又は母国から奨学金等の支援を受ける留学生
- (2) 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員
- (3) 社会人学生等生活費相当額として十分な水準で、給与・役員報酬等の安定的な収入（目安 240万円/年以上）を得ている者

### 3. 採択予定数

約6名

#### 4. 採択期間

3年制博士課程：2022年10月1日～2025年9月30日

4年制博士課程：2022年10月1日～2026年9月30日

#### 5. 生活費相当額及び研究費

2022年度の支給予定額は以下のとおりです。

(1) 生活費相当額：110万円／半年分

(2) 研究費：15万円／半年分

\* 応募書類の研究内容などを精査し、追加配分することがあります。

(3) その他

シン・文殊グループから提案のあった異分野融合研究テーマにプロジェクト経費として、1件あたり最大60万円／年を支給します。

※ なお、予算の状況により増減することがあります。

#### 6. 申請書類

(1) 申請書（様式1）

#### 7. 提出方法

(1) 申請書（様式1）は、8月22日（月）12時厳守で各研究科担当係へメールにより提出してください。なお、ファイルは、必ずPDFファイルに変換のうえ（形式などが崩れていないことを確認のこと）、ファイル名を「学籍番号（半角数字）氏名\_01申請書」（例 2100010012山口太郎\_01申請書）としてください。

（山口大学の学籍番号を持っていない場合は、「氏名\_01申請書」としてください。）

【各研究科担当係】

医学系研究科：医学部学務課大学院教務係 ([me233@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:me233@yamaguchi-u.ac.jp))

創成科学研究科（理学系）：理学部学務係 ([hc135@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:hc135@yamaguchi-u.ac.jp))

創成科学研究科（工学系）：工学部学務課教務係 ([en303@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:en303@yamaguchi-u.ac.jp))

創成科学研究科（農学系）：農学部学務係 ([ag295@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:ag295@yamaguchi-u.ac.jp))

東アジア研究科：経済学部大学院係 ([ec191@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:ec191@yamaguchi-u.ac.jp))

共同獣医学研究科：共同獣医学部大学院係 ([ve106@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:ve106@yamaguchi-u.ac.jp))

#### 8. 選考方法及び審査の観点

支援学生選考委員会において、第一次選考（書類審査）及び第二次選考（面接審査）を実施します。

第一次選考合格者に第二次選考の方法等を連絡します。なお、第一次選考の結果によっては、第二次選考を行わずに、第一次選考の結果をもって採択者を決定する場合があります。

審査の主な観点は、以下のとおりです。

- (1) 博士後期課程における研究計画
  - ・ 応募者の研究背景、研究目的、研究内容などを分かりやすく説明できているか。
  - ・ 研究テーマ設定に応募者の自主性、独立性がみられるかどうか。
  - ・ 研究計画は妥当な内容かどうか。
- (2) 異分野融合研究に関する応募者のアイデア・考え方
  - ・ 異分野融合研究として提案した研究テーマが優れているか。
  - ・ 異分野融合研究に対して応募者なりの考えを持っているか。
  - ・ 異分野融合研究に対して応募者が貢献できそうな点を明確に認識（説明）しているか。
  - ・ 異分野融合研究に対する熱意や参加の積極性が応募者にみられるか。
- (3) 自己分析
  - ・ 自己分析に基づいて何をすべきかが明確に分かっているか。
- (4) 応募者の目指す将来像
  - ・ 将来、我が国の研究・イノベーションの発展に寄与できそうか。
  - ・ 将来、我が国の研究・イノベーションの発展に対する強い意欲があるか。
  - ・ 自分のキャリアパス形成に関して強い意志があるか。

## 9. 本プロジェクトの今後のスケジュール（予定）

第1次選考（書類審査）	2022年8月下旬
第2次選考（面接審査）	2022年9月上旬～中旬の間 （オンラインで実施予定）
採択決定	2022年9月下旬

## 10. 選抜学生の責務

選抜学生は、以下の責務を負います。

- (1) やまぐち未来創発塾による各種開講プログラムの受講及びシン・文殊グループの活動に参加すること。
- (2) 研究を行うにあたって、本学が定める諸規則を遵守すること。
- (3) 研究倫理教育eラーニング（eAPRIN）及び公的研究費の不正防止計画に基づく研修会を受講すること
- (4) やまぐち未来創発塾開講プログラムの育成効果の検証のため、卒塾後10年程度の間、JST及び本学が実施するキャリア追跡調査に協力すること。

## 11. 個人情報の取り扱い等

申請書類に含まれる個人情報は、本選考及びプログラム実施のために利用するほか、必要に応じ、JSTに提供することがあります。また、選抜学生の氏名は、JSTのホームページに公表されます

## 12. その他

その他、キャリアパスデザイン推進室のHP (<http://career.gse.yamaguchi-u.ac.jp/insei.html>) に掲載しているQ&Aも熟読しておくこと。